

障がいある人や、ひきこもり不登校の人たちとの明るい社会をつくるために

わんぱく学園ニュース

令和4年 11月・12月号 No.214

春と秋の季節に見頃を迎え、まっすぐに伸びた太い茎の先にカラフルな花を1輪つける花・・・そう・・・ガーベラの花が咲く頃_____。花言葉は色によってさまざま「感謝」「希望」とか。私事

46年前の1976年4月5日、第2子長男「広」が誕生。ヘソの緒が首に巻きつき、酸欠状態でこの世に生を受けた。思えば、広がお腹の中で7ヶ月目に入った頃、不注意から私は転倒し腹部を強打したことがあったが・・・。

思いがけない出来事とその現実をどうしても受け入れられず「この子を育てあげることが出来るか？」と、大きな不安に陥った。しかし、何事にも前向きな故夫は言った。「我が子の可能性を親が信じなきゃ誰が信じる？誇りをもって育てよう！」さらに「親亡き後の社会づくりも!!」と、二人で固く誓い合った。

まず始めたのは“広の存在を世間に知って頂く”ことから。同じように障がいがあるお子さんと出会っていた保護者の家を一軒々廻り、組織づくりに奔走。そして1988年6月、児童生徒・保護者・地域の方・行政関係者等参列した『わんぱく学園』の開校式にたどり着いた。学園名は週報で公募、120通余りの中から多数決で決めた。「わんぱくであって欲しい」との親の強い願いが込められた。

共生社会はまだまだ.....。

理念に賛同したおよそ50名の方々が、ご多忙にもかかわらずボランティアで支援して下さった33年余り。任意団体を経て2009年9月3日、やっと法人化へつなげることができた。周囲の方々から「やっとその気持ちになりましたかあ〜？」との声。共に喜び合うと同時に気が引き締まった。

今回ご寄稿頂きました日本海テレビジョン放送㈱ 執行役員島根総局長

山尾義己様もそのおひとり。

長きに渡ったご尽力に感謝し、私が歩む道に咲くガーベラに思いを寄せ、山尾様へ感謝の念を詩（うた）に

感謝の念 天に届けよ 想いはひとつ

山尾様とのご縁は17年前、任意団体で活動していた時代。思考錯誤しながら歩んでいた私に、方向性やヒントを示して下さい等ご尽力をいただいた。

今回その山尾義己様にご多忙の中ご寄稿戴き、重ねて感謝申し上げます。

～土江和世～

「多くの人に知ってほしい」との思いで・・・

日本海テレビジョン放送㈱ 執行役員 島根総局長 山尾義己

私が土江和世さんの活動を知ったのは2005年。ゴールデンウィーク中に、「わんぱく学園」の活動の一環として開かれていた障がい者自立支援ショップ「みずわ」取材に訪れたのが最初でした。当時私は、松江に異動してきて4年目で、報道記者として日々島根県内各地に出向き、さまざまな取材を行っていました。その喫茶コーナーで障がいがある方たちが、生き生きと接客していたのが印象的でした。そしてイベントの主催者としてお話を聞いたのが、土江さんとの最初の出会いでした。

こころざし

その高い志と行動力に感心し、その後に学園の日頃の活動を追加取材させていただき、夕方のニュース番組で特集として放送しました。

取材のなかで、土江さんの様々な姿を拝見、接する中で強く感じたのは、障がいがある子供たちの将来を思う熱い気持ちでした。しかし、一方で「（失礼ながら）ご自身が子供なのでは？」と思うくらい無邪気で純粹すぎる一面があることに驚いたのです。時に「本当に大丈夫？」と

心配になることもあり、「お助けしなければ」という思いに駆られてプライベートで活動のお手伝いを少しさせていただいたこともありました。アトリエ「おちらと」で夜、当時使用されていたワープロで文書作成のお手伝いをしたことなどが懐かしく思い出されます。

リーダーにはさまざまなタイプがありますが、なかなか出会わないタイプで・・・そんな不思議な魅力が、協力者を活動に引き込む力になっているとも感じていました。

2008年に鳥取本社に異動になるまでの約3年の間に、CDレーベルの立ち上げやそれを受けてのコンサート開催などについても放送させていただきました。芸術の創出によって『夢を切り開く』という新しい試みを多くの人に知ってほしいとの思いでした。異動してからは直接仕事で関わることはできなくなりましたが、松江で働いている後輩記者たちが時々取材させてもらっています。

その後も「NPO法人サポートセンターどりーむ」を立ち上げるなど、夢に向かって進んでいる土江さんの姿には、本当に頭が下がる思いです。

障がいがある、なしにかかわらず“自分らしく輝ける場所”。そんな場所が普通に存在する社会になるように、そのための活動を今後も少しでも応援したいと思っています。

【山尾執行役員 経歴】

1988年4月 日本海テレビジョン放送 入社

(以下、全て日本海テレビでの経歴)

2002年4月～2008年3月 松江本社報道部 (記者)

2014年4月 報道部長

2019年6月 報道制作局長

2021年6月 執行役員 島根総局長

■ 11月&12月の「わんぱく学園」活動予定

11月・12月のメニューです。

月 日	内 容	会費
11月13日(日)	□お花を植えよう！ ～アトリエのプランターの植え替えをしよう～ 集合場所：アトリエ「おちらと」 担当：岩浅利正、角末美	100円
12月18日(日)	□ミニ門松を作ろう！ ～ミニ門松を作って新年を迎えよう！～ 集合場所：アトリエ「おちらと」 担当：岩浅利正、角末美	100円
12月25日(日)	□大掃除 ～アトリエ「おちらと」をきれいにして気持ちよく新年を迎えよう！～ 集合場所：アトリエ「おちらと」 担当：土江和世、坂根玄明	100円

***集合時間：9時50分 集合場所：指定の場所へ来てくださいね。**

※すべてコロナの拡大防止のために、中止、変更がありますから、1週間前に事務局まで確認してください。

問い合わせ&発行元

〒691-0031 出雲市東福町156-1 NPO法人サポートセンターどりーむ

TEL & FAX : 0853-62-4872 メール : art-art@amail.plala.or.jp



当法人アーティスト

高橋百合子 作:ガーベラの花